

平成30年度

発表日：平成30年4月25日

農作物病害虫発生現況情報（4月） 水稻編

岩手県病害虫防除所

育苗施設における病害発生状況（調査日：4月18～20日）

1 細菌病類

(1) 育苗施設の巡回調査では、発生は確認されていない（表1）。

2 苗立枯病

(1) 育苗施設の巡回調査では、一部の施設で発生が確認された（表1）。

3 ばか苗病

(1) 育苗施設の巡回調査では、2施設で発生が確認されたが、いずれも発病程度は低かった（表1）。

表1 育苗施設の病害発生状況

調査地域	調査育苗 施設数	病害発生施設数		
		細菌病類	苗立枯病	ばか苗病
県中部	9	0	0	1
県南部	8	0	1	1
沿岸部	1	0	0	0
合計	18	0	1	2

農作物病害虫発生現況情報（4月） 麦 編

1 雪腐病

- (1) 4月上旬の巡回調査での発生圃場率は、平年より高かった（図1）。
- (2) 地域別では、県北部で発生圃場率が高かった（図2）。

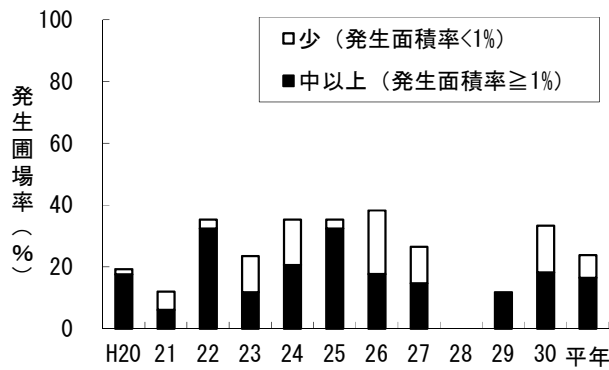


図1 雪腐病の発生圃場率の年次推移（4月上旬）

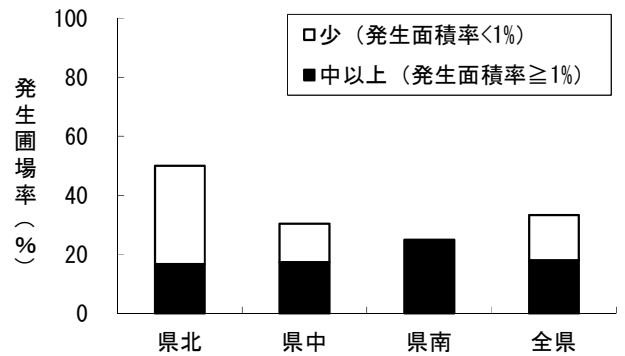


図2 雪腐病の地域別発生圃場率（4月上旬）

2 萎縮病類

- (1) 4月上旬の巡回調査での発生圃場率は、平年並だった（図3）。
- (2) 作付年数別では、2年以上の連作圃場で発生程度が高かった（表1）。

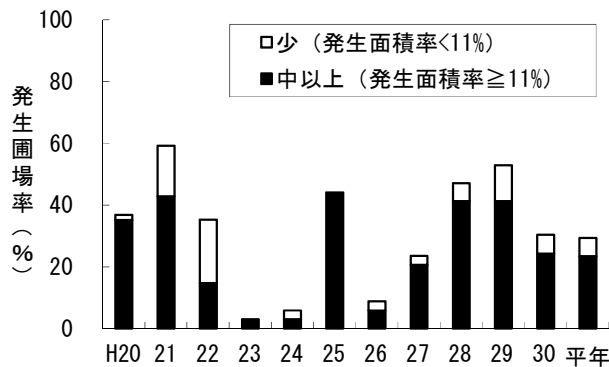


図3 萎縮病類の発生圃場率の年次推移（4月上旬）

表1 萎縮病類の作付年数別発生圃場率（4月上旬）

作付年数	発生程度					計	程度少以上発生圃場率	程度中以上発生圃場率
	甚	多	中	少	無			
1年目	1		1	1	11	14	21.4	14.3
2年以上	4	2		1	12	19	36.8	31.6
計	5	2	1	2	23	33	30.3	24.2

3 ムギダニ

- (1) 巡回調査圃場では、確認されなかった。

農作物病害虫発生現況情報（4月） りんご編

1 モニリア病

- (1) 特定圃場（花巻市）において4月第3半旬に、胞子を飛散する直前であるⅢ型の子実体が確認され、4月第4半旬に胞子飛散が盛んとなるⅣ型の子実体が確認された（表1）。
- (2) 本年展葉までのりんごの生育は平年よりも早かったが、子実体の生育状況から推定される胞子飛散開始時期は4月第4半旬であり、平年よりもやや遅いと推定された（表1、2）。
- (3) 特定圃場（花巻市）における、葉ぐされの初発日は4月22日であった。

表1 特定圃場（花巻市）における生育程度別子実体確認状況

調査 月日	生育程度別子実体数				計
	I	II	III	IV	
4/11	5	1	0	0	6
4/12	0	5	2	0	7
4/16	0	0	0	1	1

表2 りんごの生育と子実体からの胞子飛散状況

年次	りんごの生育 (月/日) ※			胞子飛散推定時期 (月-半旬)	
	発芽日	展葉日	開花始	県中南部	
				4 - 5	～ 6
H25	4/9	4/23	5/16	4 - 5	～ 6
26	4/3	4/14	5/5	4 - 4	～ 5
27	3/30	4/6	4/28	4 - 3	～ 4
28	3/30	4/8	5/1	4 - 3	～ 5
29	4/7	4/17	5/6	4 - 3	～ 5
本年	4/1	4/9	-	4 - 4	～ 5
平年	4/7	4/17	5/6	4 - 3	～ 5

※岩手県農業研究センター（北上市）のふじ（わい性樹）

2 腐らん病

- (1) 4月中下旬の巡回調査における発生園地率は、平年並であった。（図1）。
- (2) 地域別では、県中部で発生園地率が平年よりやや高く、一部の園地では発生程度が中以上であった（図2）。

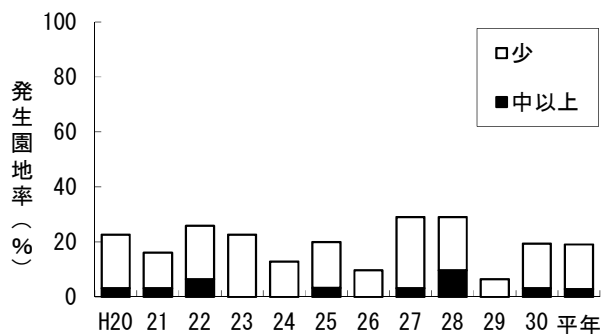


図1 腐らん病の発生園地率の年次推移（4月中下旬）

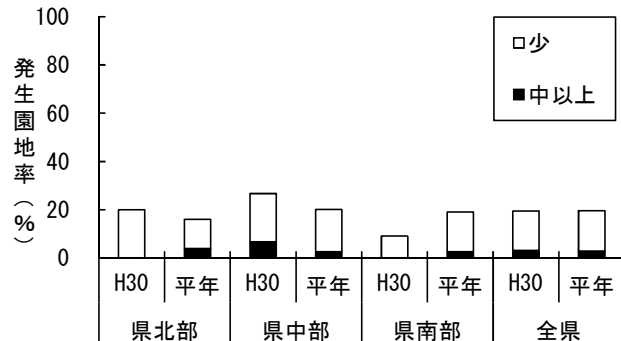


図2 腐らん病の地域別発生園地率（4月中下旬）

3 リンゴハダニ

(1) 3月下旬から4月上旬の巡回調査における越冬卵調査での寄生園地率は、平年並だった(図3)。

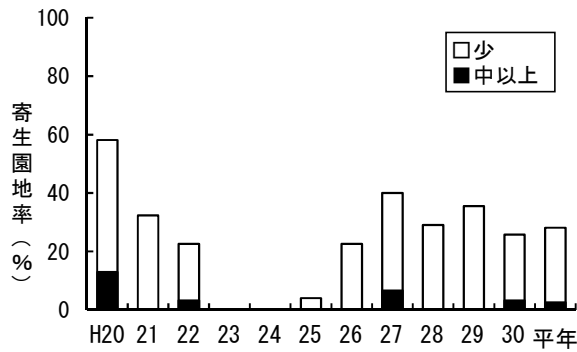


図3 リンゴハダニ越冬卵の寄生園地率の年次推移 (3月下旬～4月上旬、短果枝)

4 ナミハダニ

(1) 4月中下旬の巡回調査での発生園地率は、花叢葉、下草ともに平年より低かった(図4、5)。

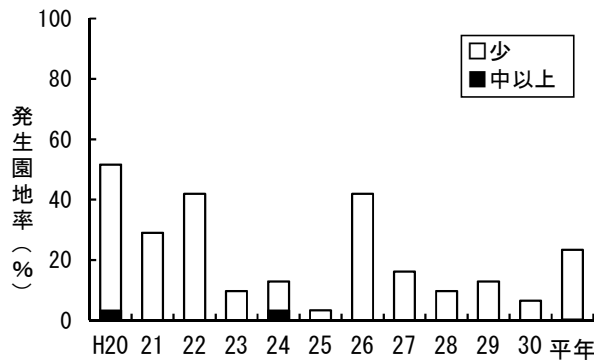


図4 ナミハダニの発生園地率の年次推移 (4月中下旬、花叢葉)

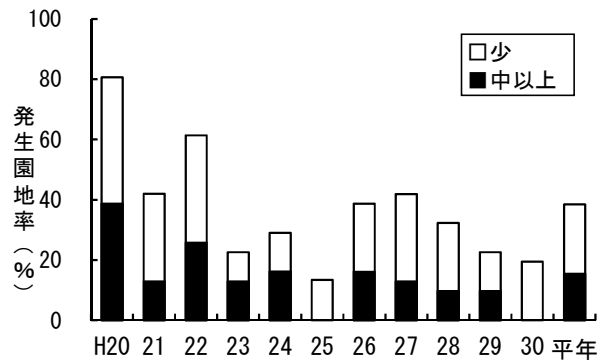


図5 ナミハダニの発生園地率の年次推移 (4月中下旬、下草)

5 ハマキムシ類

(1) 4月中下旬の巡回調査では、発生は確認されなかった(図6)。

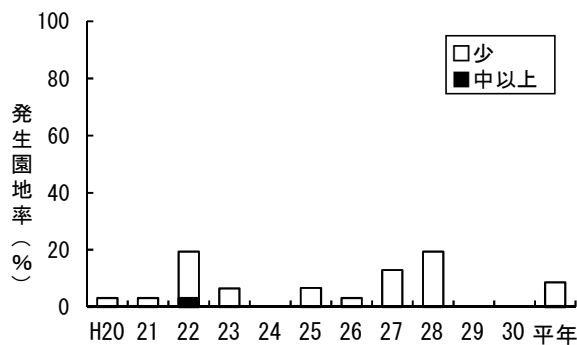


図6 ハマキムシ類の発生園地率の年次推移 (4月中下旬)

6 アブラムシ類

(1) 3月下旬から4月上旬の巡回調査での越冬卵の寄生園地率は、平年並で、4月中下旬の巡回調査における発生園地率は、平年並だった(図7、8)。

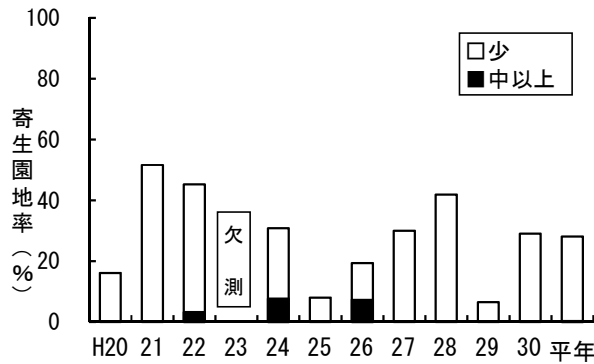


図7 アブラムシ類の寄生園地率の年次推移
(3月下旬～4月上旬、越冬卵)

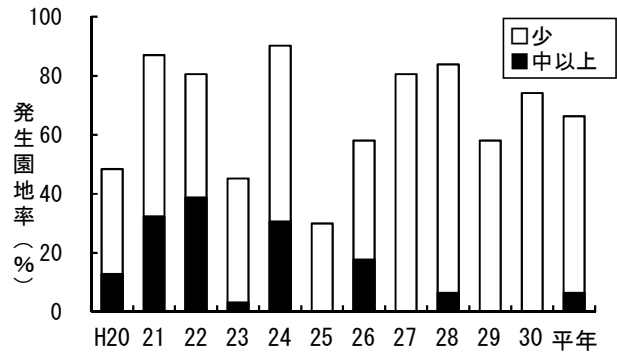


図8 アブラムシ類の発生園地率の年次推移
(4月中下旬)

7 果樹カメムシ類

(1) 作業小屋等に設置した簡易トラップによる越冬量調査では、クサギカメムシの越冬量は、盛岡市川目では平年より極めて多く、金ケ崎町六原では例年より少なかった(図9)。

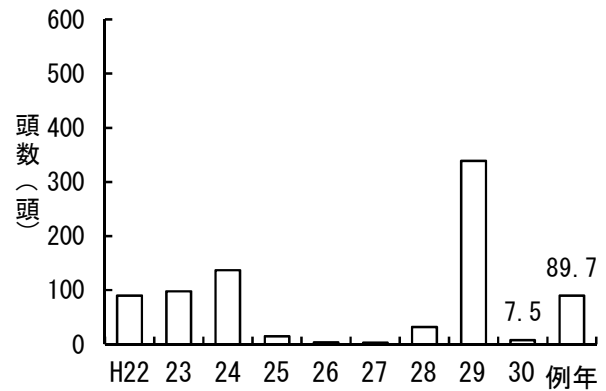
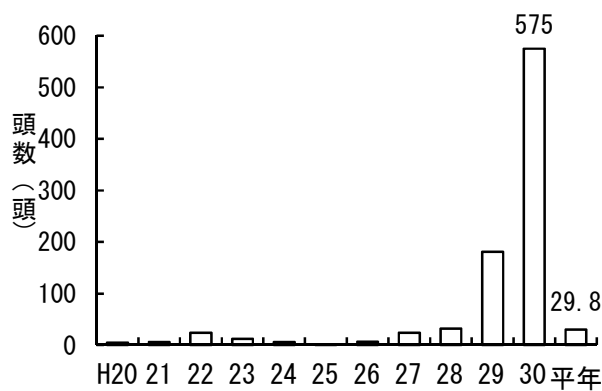


図9 クサギカメムシ越冬量の年次推移(左:盛岡市川目、右:金ケ崎町六原、簡易トラップ)

※簡易トラップは、りんご木箱に新聞紙を重ねて詰め込み、園地内にある納屋の軒下等に設置した。

※金ケ崎町はH22～H29の8か年平均を例年値とした。

※金ケ崎町は2反復の平均値、ただしH24年は反復なしの値。

農作物病害虫発生現況情報（4月）キャベツ編

1 コナガ

- (1) 北上市でのフェロモントラップによるコナガの誘殺は、3月第6半旬から認められた（図1）。
- (2) 軽米町でのフェロモントラップによるコナガの誘殺は、4月第1半旬から認められた（図2）。

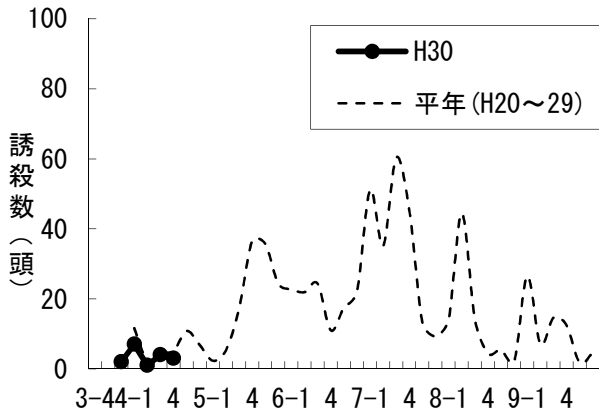


図1 北上市におけるコナガの誘殺状況
※トラップ設置日：3月23日

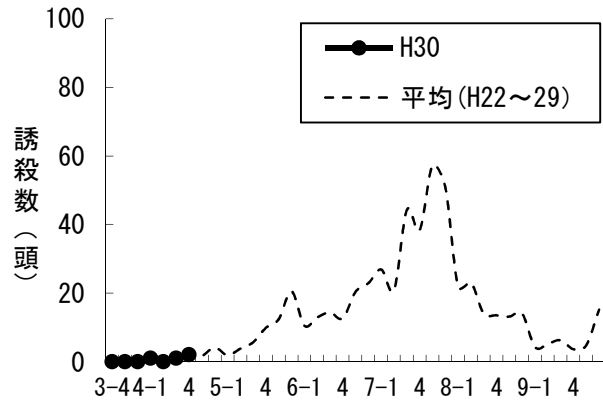


図2 軽米町におけるコナガの誘殺状況
※トラップ設置日：3月16日

農作物病害虫発生現況情報（4月） ねぎ編

1 ネギコガ

- (1) 北上市でのフェロモントラップによるネギコガ越冬世代の誘殺は、3月第6半旬から認められた（図1）。
 (2) 軽米町でのフェロモントラップによるネギコガ越冬世代の誘殺は、3月第4半旬から認められた（図2）。
 (3) 基準圃場（北上市）では、3月第6半旬にネギコガ越冬世代の産卵が確認された。
 (4) 現地圃場（花巻市）における第1世代幼虫のふ化は、4月第4半旬に確認された（表1）。

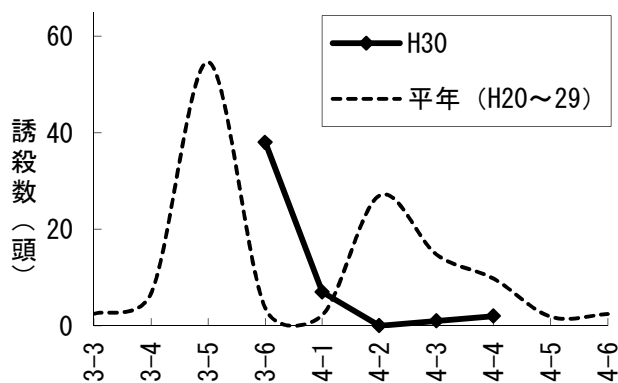


図1 北上市におけるネギコガの誘殺状況
 ※トラップ設置日：3月23日

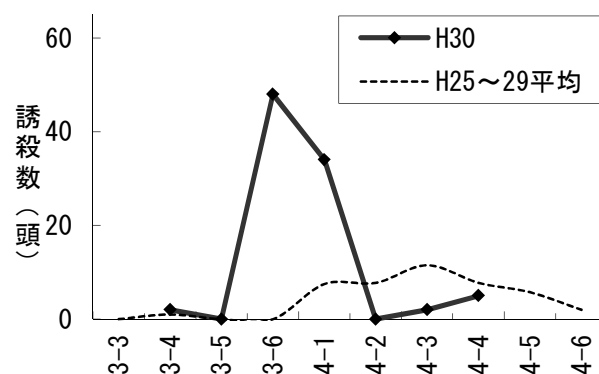


図2 軽米町におけるネギコガの誘殺状況
 ※トラップ設置日：3月16日

表1 越冬ねぎ圃場におけるネギコガふ化
 (被害葉) 確認日

年次	確認日
H20	4月22日
H21	5月2日
H22	5月6日
H23	5月12日
H24	5月1日
H25	5月13日
H26	5月2日
H27	4月20日
H28	4月15日
H29	4月20日
H30	4月20日

※H20~29は農業研究センター内圃場（北上市）、
 H30は現地圃場（花巻市）における調査